

第3回研究会における議論の範囲と主要論点

資料2

開催時期	検討項目(案)
7/14(火) 第1回研究会	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の検討内容及び目標について ・コベネフィットプロジェクト抽出に向けた調査について ・セミナー開催等の普及啓発方法について
10/15(木) 第2回研究会	<ul style="list-style-type: none"> ・コベネフィットプロジェクト抽出の調査結果について ・廃棄物業者の取り組みのJ-VER化について ・試行的排出量取引制度への廃棄物業者の参加促進について
10月～11月	全国3カ所(東京、大阪、北九州)でセミナー開催
12/24(木) 第3回研究会	<ul style="list-style-type: none"> ・市民・自治体レベルの取り組みのJ-VER化について ・試行的排出量取引制度への廃棄物業者の参加促進について
第4回研究会	<ul style="list-style-type: none"> ・コベネフィットプロジェクトのJ-VER化に向けた評価(主に経済性試算)について ・コベネフィットプロジェクトのJ-VER化に係る課題と解決に資する推進方策について ・コベネフィットプロジェクトの推進に係る課題と推進方策

第1回研究会資料を基に作成

第2回研究会(主なご指摘)

- ・リデュース、リユースに関連する取組のJ-VER化を検討すべき
- ・リサイクル材の一部は、販路がなく循環していないものがあるので費用対効果、リサイクルすべき範囲を検討すべき

- ・複数の主体が関与する廃棄物分野のGHG削減取組について、公平なクレジットの配分が行われるルールづくりが望まれる
- ・スクリーニングしたプロジェクトの経済性分析が必要ではないか



コベネフィットプロジェクト
(1つのプロジェクトで両方を推進)

第3回: 市民・自治体レベルによる取り組みの整理、J-VER化の可能性評価

第4回研究会における検討(予定)

- ・J-VERの可能性のあるプロジェクトについて、経済性(追加性)の試算
- ・国内コベネプロジェクトのJ-VER推進に係る課題と推進方策
- ・その他廃り分野の国内コベネプロジェクトの推進に係る課題と推進方策

研究会のまとめ(案)(資料7参照)

第3回研究会における主要論点

1. 市民、NPO、自治体等による廃棄物・リサイクル分野のコベネフィットプロジェクトについて網羅的な整理がなされているか？→【資料3】
2. J-VER等の手法を用いることにより、優先的に促進すべきプロジェクトは何か？→【資料3】、【資料4】
3. 抽出されたコベネフィットプロジェクト候補について、今後どのような対応、例えば支援方策を図るべきか？→【資料3】、【資料4】
4. 試行的排出量取組制度への廃棄物業者の参加に係る課題は十分に把握されているか？→【資料5】